

地方の医師不足解消に向けた 医学生への有効な取り組みの提案

○光本貴一¹⁾、寺澤美晴¹⁾、馬場皓大¹⁾、谷口かおり²⁾、大磯義一郎²⁾
 1)浜松医科大学医学部医学科 2)浜松医科大学総合人間科学講座法

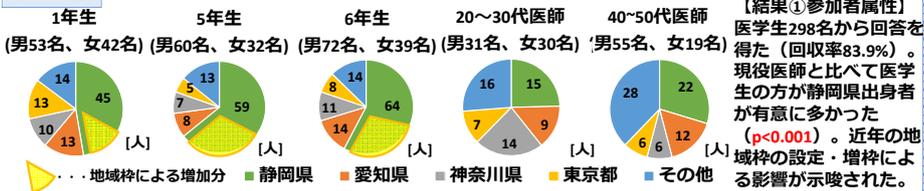
目的

人口10万人あたりの医師数(厚生労働省、2014年)は、全国1位東京都323.4名に対し、40位静岡県201.5名と医師の偏在化が問題となっている。本研究では、現在、静岡県において進行中の医師数確保に向けた医学生に対する取り組みを評価することで、全国の医師不足地域における有効な取り組みを提案する。

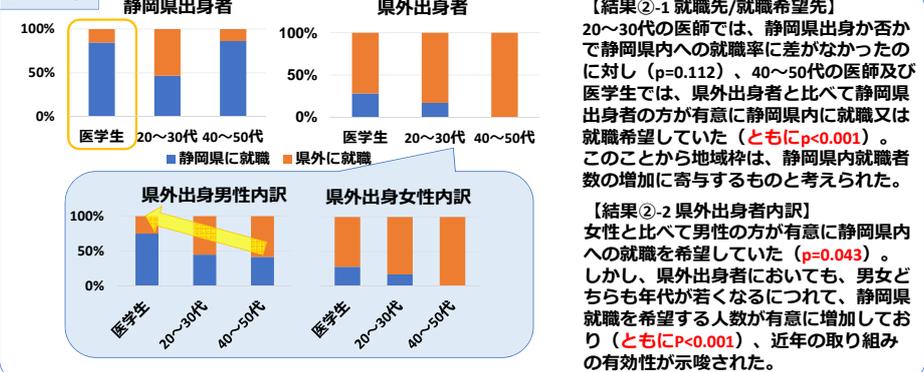
方法

- ①厚生労働科学特別研究「医師の勤務実態及び働き方意向等に関する調査」(2016年)の回答者のうち、浜松医科大学医学部医学科の卒業生135名についての出身地、出身大学、勤務先等のデータから統計解析ソフトSPSSを用いて χ^2 検定を行った。
- ②2017年度在学中の浜松医科大学医学部医学科1・5・6年生355名を対象に勤務希望先、就職意識等につきアンケート調査を行い、得られたデータから統計解析ソフトSPSSを用いて χ^2 検定を行った。

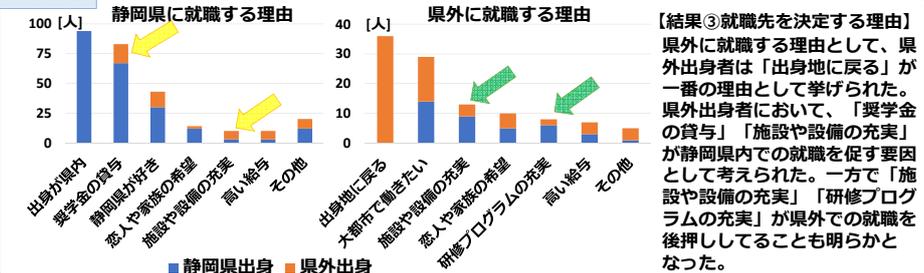
結果①



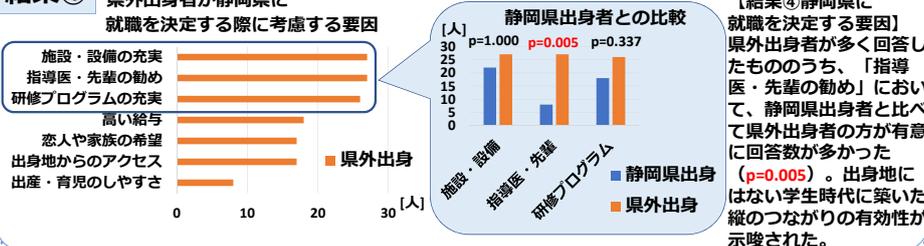
結果②



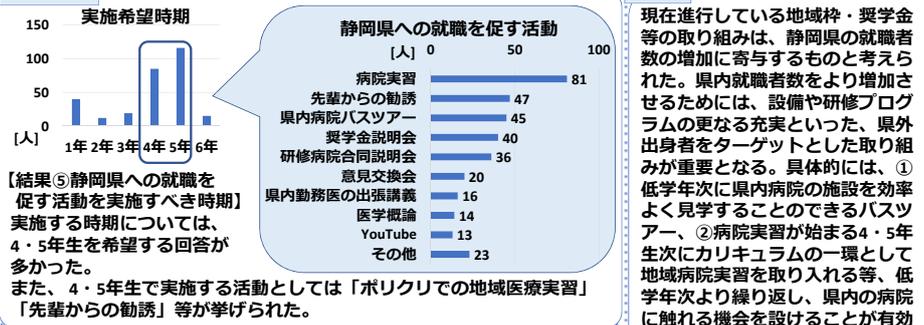
結果③



結果④



結果⑤



考察

現在進行している地域枠・奨学金等の取り組みは、静岡県の就職者数の増加に寄与するものと考えられた。県内就職者数をより増加させるためには、設備や研修プログラムの更なる充実といった、県外出身者をターゲットとした取り組みが重要となる。具体的には、①低学年次に県内病院の施設を効率よく見学することのできるバスツアー、②病院実習が始まる4・5年生次カリキュラムの一環として地域病院実習を取り入れる等、低学年次より繰り返し、県内の病院に触れる機会を設けることが有効である。病院実習で築いた指導医や先輩とのつながりが県内に残る最大のメリットであり、県外出身者にはこのことを強くアピールすることが重要と考えられた。

結語



日本医学教育学会COI開示
 筆頭演者名: 光本貴一
 演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。